

《課題名》

肺癌外科治療の術前耐術能評価としての心臓超音波検査の有用性についての検討

《研究対象者》

2007年1月1日から2019年12月31日の期間中に滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科で原発性肺癌に対して外科治療が施行された症例で、術前耐術能検査として心臓超音波検査が実施された症例

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

研究に関するご質問、あるいは、この研究への参加（情報提供）を希望されない場合は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：肺癌外科治療の術前耐術能評価としての心臓超音波検査の有用性についての検討

研究期間：承認日～2024年12月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》呼吸器外科 《氏名》花岡 淳

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

術前に行っている心臓超音波検査では、現在の心機能を評価することが可能です。この検査の結果を用いて、循環器疾患の検出や重症度評価、他の併存疾患の循環動態に与える影響、あるいは、術後合併症や予後の予測が可能かどうかを調べるのが、この研究の目的です。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

肺癌に対する外科治療施行前に行った耐術能検査結果（心臓超音波検査、心電図、肺機能検査）、画像検査結果（胸部X-P、胸部CT、肺血流シンチ）、病理検査結果（組織型・組織所見）、対象患者背景（手術時年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患、生活歴、腫瘍径、T因子、N因子、M因子、術式、手術時間、出血量、バイタル、ドレーン排液量）、術後合併症、および、予後（生死、再発の有無、時期および再発部位）、腫瘍マーカー値（CEA、SLX、ProGRP、NSE、SCC、シフラ）、および、その他（BNP、KL-6、末梢血・血液生化学検査結果）について電子カルテ情報を元として、心臓超音波検査の各測定値との間に関連があるかを調べます。

（４）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(西暦 2023 年 12 月 31 日までに) 下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 呼吸器外科 花岡 淳

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2244